



写真は標準キャブ・セミロングデッキ・高床・3.0トン積・ディーゼル車。“S パッケージ”装着車。ボディカラーはブルー<8P0>。車種番号 175 ■写真は合成です。

## トラックづくりのすべてにわたって、環境への配慮を徹底。

### トヨタがめざす「トータルクリーン」

トヨタは「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携。さまざまな環境目標をバランスを取りながら達成することで、総合的に環境性能の向上を図り、クリーンなクルマづくりをめざします。

### 地球温暖化対策の実施

●温室内効果ガスであるCO<sub>2</sub>排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載。また、ハイブリッドシステムの採用などにより、優れた低燃費を達成しています。  
●エアコンの冷媒充填量を低減しています。

### 環境負荷物質の削減

鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界目標を達成しています。

### VOC<sup>※1</sup>の低減を推進しています。

内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物(VOC)の発生量を抑制。車室内の臭いや刺激臭を軽減とともに、厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」を下回るレベルとし、業界自主目標を達成しています。

### トヨタ ダイナ環境仕様

車両仕様	車両		ディーゼル車								LPG車	
			DPR搭載車						ハイブリッド車			
エンジン	型式 (L)	N04C-UM	N04C-UN	N04C-UP	N04C-UQ	N04C-VT	N04C-VU	N04C-UL	1BZ-FPE			
		総排気量 (L)		4.009						4.009		
駆動装置	駆動方式	軽油								LPG		
		2WD	2WD/4WD	2WD	2WD/4WD	2WD	2WD	2WD	2WD	2WD		
CO <sub>2</sub> 排出量 (g/km)	車両総重量 (kg)	5MT・6AT	5MT・6MT	6AT	5MT・6MT	6AT	6MT	6MT・6AT	6MT	5AMT	6AMT	
		最 3.5トン超 7.5t 以下	249	249	235	249	231	259	—	212	196	275
環境情報	適合規制	2.0トン超3.0t 以下		—	269	254	269	254	—	223	209	295
		3.0トン超4.0t 以下	—	—	—	315	340	—	—	—	249	—
排出ガス	JE05モード 認定レベル g/kWh	7.5t 以下	—	—	—	—	—	354	354	—	—	
		8.0t 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
車外騒音(加速/定常/近接) (dB)	平成22年(ポスト新長期)排出ガス規制 [規制値に対しNOx▲10%かつPM▲10%]	平成22年(ポスト新長期)排出ガス規制 [規制値に対しNOx▲10%かつPM▲10%]								平成22年(ポスト新長期)排出ガス規制 [規制値に対しNOx▲10%かつPM▲10%]		
		標準キャブ※6 冷媒の種類 HFC-134a/使用量 (g)	JE05モード 認定レベル g/kWh	0.63	0.17	0.009	—	0.4	0.17	0.010	0.63	0.7
車室内VOC	リサイクル関係	P M	標準キャブ※6 ワイヤキャブ※7	—	500/850	500/400	400	500/400	400	500	0.17	0.23
		鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年時点の1/10以下※8)								0.009	—
環境負荷物質削減	リサイクル関係	水銀	自工会2005年自主目標達成(2005年1月以降使用禁止※9)								—	
		カドミウム	自工会2007年自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)								—	
リサイクル関係	リサイクルしやすい 材料(TSOP)を使用した部品 樹脂、ゴム部品への材料表示	六価クロム	自工会2008年自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)								—	
		インストルメントパネル、メータークラスター、グローブボックスドア、フロアクーラー、クォータトリムボードなど	自工会自主目標達成								あり	

※5.WHDCモード ※6リヤクーラー付は800g、サブコンデンサー付は650g、N04C-UNの4WDは550g。 ※7リヤクーラー付は850g、N04C-UP・N04C-VTの4WDは400g。

※8.1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。 ※9.交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。

### LCA(ライフサイクルアセスメント)<sup>※2</sup>の実施

走行段階だけでなく、トラックの生産・使用から最終的に廃棄するまでの全ライフサイクルで、環境への負荷を把握するのがLCA(ライフサイクルアセスメント)。トヨタでは、その観点から、排出するCO<sub>2</sub>やその他の大気汚染物質の総量を従来型車に比べて低減しています。

### 都市環境のクリーン化に配慮

ディーゼル車は新高性能触媒DPR・DPR-IIなどの採用により、排出ガスのクリーン化を推進。その結果、「平成22年(ポスト新長期)排出ガス規制」「平成28年(ポスト・ポスト新長期)排出ガス規制」に適合しています。

### リサイクル性の向上へ

インストルメントパネルやメータークラスター、グローブボックスドアなど内装部品にリサイクル性に優れた樹脂TSOP<sup>※4</sup>を使用しています。

